

## 鳥取県西部地震による被害

自治会名            口陰田自治会

区 分	被 害 金 額 円	備 考
土 地	円	
池・つつみ	1,500,000円	小天竺池 護岸剥離約40m 小犬田池 護岸亀裂35m
放送設備	450,000円	放送電線切断6か所 舗装機械損傷修理
集 会 所	2,000,000円	屋根・壁剥離亀裂全面 便所タイル亀裂剥離 窓鍵等損傷
神 社・ <sup>ほら</sup> 祠	500,000円	社務室建物 基礎崩れ
動産（家具など）		
そ の 他		
合 計	4,450,000円	

## ★記入のしかた

- 1 調査の対象は、自治会が保有または管理している財産です。
- 2 被害金額は復旧にかかるおおまかな費用を記入して下さい。
- 3 被害のない自治会、財産のない自治会は報告不要です。

ご協力ありがとうございました。

今回の鳥取県西部を襲った地震はこの地区にとって未曾有の大災害である、いまだに夜昼なく余震が続き、睡眠不足が続き、肉体的にも精神的にも極限状態にある。幸いにも死傷者や全壊家屋が少なく、火災等の二次災害がなく、又水道電気電話等の被害が少なく、最悪の事態を免れた。しかし家屋内の倒壊破損は阪神大震災と何ら変わらない程の惨状である。そして家屋の土台の亀裂や家屋のゆがみ等の修復は家屋の倒壊に比べて容易ではない。当自治会においては10月7日急遽役員会を開き、別紙の通り被害調査を実施し、今後の対策を検討討議し、不測の事態に対処すべく、体制を整えた。別紙のごとく、被害は甚大である。この度の地震は地区により被害の大小の差があった様であり、軽微のところでは想像もつかない惨状である。地震は天災である、己自身の力と気力で対処し、立ち上がらねばならない、区民の皆さん頑張っている。

米子市は地震発生と同時に地震対策本部を設置し、これに対処しているはずであるが、

米子市は地震発生以後何をしたらどうか

- 1) 防災無線で情報を流すこと、ラジオやテレビで既に流れた情報の遅い繰り返し、夜中も同じ繰り返しの連続である。対策本部はマイクでがなりたてるだけか
- 2) 対策本部は被害状況をどれだけ把握しているだろうか、当地区へは誰も来ていない、対策本部の被害数量は何を根拠に発表されるだろうか。
- 3) 地震災害に欠かせない必需品は発生と同時に対策本部は対処して調達すべきではないか、水、食料、等はもちろん、二次災害防止の資材—例えば雨に備えて損壊した屋根に張るブルーシート、土嚢袋、ロープ等ほとんど品切れであった、当地区でもホームセンターを何か所か探し回りやっと手に入れて対処した。雨を真近にし物凄い時間のロスである。地震は局地災害である、対策本部が電話1本かければ、翌日は何万枚でも届くはずだ。無償で配布しろとは言わない、災害現場に届けられるだけでどんなに助かることか、何のための対策本部か、何のための防災訓練か、今しみじみと疑問に思う者の一人である。しかも今回ブルーシートの無料配布があった様であるが、これは自治会には連絡もなく地区公民館でやっているとゆうことを人伝にきいて何人かの人が2枚ずつだけもってきた様である。この時は既にシート張りが終わった時点である。自治会は市報配りをするためにあるのではない。
- 4) まだ余震が続いている、別紙の調査は7日時点である、土台からずれた建物は余震によって徐々に移動を続けている。被害はまだ増えるだろう、対策本部はもっと真剣に取り組んでほしい。間近にあった阪神大震災の経験充分生かしてほしい。

平成12年10月9日

□陰田自治会長 足立良彦

## 鳥取県西部地震被害状況調査

口陰田自治会

H12、10、7調査

世帯数 110 (7班)

災害項目	1班(13世帯)	2班(18世帯)	3班(17世帯)	4班(18世帯)	5班(13世帯)	6班(9世帯)	7班(22世帯)	単位	被害数集計	摘 要	想定被害金額
屋根 棟の破損	227	93	157	179	25	55	43	m	779	材工費共 35,000/m	27,265,000
屋根 瓦の破損	2,890	540	865	945	150	330	436	枚	6,150	// 450/枚	2,767,500
家屋壁のひび割れ	163	62	73	68	11	12	6	箇所	327	平均3m=981 3000/m	2,943,000
家屋壁の脱落	32	5	7	15	2	5	1	//	67	平均1m <sup>2</sup> =67m <sup>2</sup> 20000/m <sup>2</sup>	1,340,000
家屋土台のひび割れ	34	6	8	12	1	1		//	61	平均3.5m=213.5m 50000/m	10,675,000
家屋のずれ移動	7			1				棟	8	場合よれば取り壊し 補償で償 350万/ヶ	28,000,000
家屋のねじれ(戸の隙(閉め悪化))	36	18	30	26	13	9	22	//	154	材工共1ヶ所2万(50ヶ所) 耐材費2000	10,208,000
家屋の損壊(約50%)	3			1				//	4	付随建物 取り壊し再建築 250万/棟	10,000,000
車等の破損(瓦片等に依る破損)	1							台	1		150,000
ブロック塀等の倒壊	110			26	10	25		m <sup>2</sup>	171	材工共 6,000/m <sup>2</sup>	1,026,000
石垣等の張出・損壊	5							箇所	5	300万/箇所	15,000,000
山崩れ	50		50					m <sup>3</sup>	50	除去費 3000/m <sup>3</sup> 搬入 250万	2,650,000
屋敷内のひび割れ	15	2	5		1	8	1	箇所	32	1ヶ所 5m 5000/m 補	800,000
屋敷内の陥没	2							//	2	壁面等の補修	2,500,000
水道管の破損	5	1		2				//	8	材工共 10000/箇所	800,000
ガラス戸等の破損	26			1	2			枚	29	材工共22,000/枚	638,000
小型什器等の破損	2,000以上	500以上	800以上	900以上	200以上	350以上	250以上	ヶ	5,000	300/ヶ	1,500,000
大型家具・テレビ・駄等類	15	5	8	10	3	4	3	基	48	平均 100,000/基	4,800,000
墓石・灯籠等の倒伏損壊	11	3	13	7		3		箇所	37	1ヶ所平均 350,000/箇所	12,950,000
合 計											136,012,500
公道・公共物の破損	1) 山陰道入路に通ずる道路の路肩の亀裂 約30m 2) 青線の用水路の水路擁壁の倒壊(小犬田水路) 約15m 3) 第一班の市道と県道の接続地点の段差 約5m 4) 口陰田公民館の屋根の棟 18m 内部と外部の壁の脱落及び内張り壁の剥離損壊 10か所 周囲のコンクリートのひび割れ 5か所 便所のタイルの剥離・亀裂 扉・窓の鍵の損壊 12か所										